

戦後80年と現代—2025年東京大会に向けて

日時 2025年1月12日（日） 10時～16時

場所 東京労働会館・ラパスホール7F（対面＋オンライン）
（最寄り駅 地下鉄丸ノ内線新大塚駅又はJR大塚駅）

参加費 1,500円（学生・院生・U25 1,000円）

2025年1月12日（日）に第43回中間研究集会をハイブリッド（対面とオンライン併用）で開催します。テーマは「戦後80年と現代—2025年東京大会に向けて」です。午前の講演タイトルは「戦後80年、私たちは何を若者たちに伝えるべきか？」（羽場久美子さん、青山学院大学名誉教授）です。2025年は戦後80年。その年頭に、国際政治学者の立場からこの先未来志向で「日本の政治・外交の進むべき道」さらに「私たちは何をすべきか」について問題提起されることを期待しています。戦争は、体験者が亡くなったころに始まるということ、戦争は近隣国と領土をめぐる行われるからこそ、「東アジアに平和の国連を！近隣国とは戦争しない」を力強く語ってくれます。平和と繁栄の未来を作っていくにはどうしたらよいか、みなさんと共に考えていきましょう。

午後は二本の報告と討議です。①「子どもたちと考える戦争と平和—総合学習の取り組み」（大根田朱里さん、千葉県歴史教育者協議会）は、総合学習のテーマを「沖縄ってどんなところ？」、「平和ってどんなこと？」にして、戦争が、遠い国で起きていることや昔の話ではないことを伝えていく小学校の実践です。②「地域で取り組む「戦後80年」への歴史実践：神奈川と横浜から」（小川輝光さん、神奈川県歴史教育者協議会）は、関東大震災と戦争・空襲を欠くことできない横浜の歴史について日韓両国の若者たちが討議・討論している日韓交流に関する高校の実践です。お二人の報告から、未来を切り開く教育実践について皆さんと共に考えていきましょう。

2025年第43回歴史教育者協議会中間研究集会プログラム

- ①開会 10:00
- ②午前講演会 10:15～12:00（1時間45分）
 - 講師 羽場久美子さん（青山学院大学名誉教授）
 - タイトル「戦後80年、私たちは何を若者たちに伝えるべきか？」
- ③昼食 12:00～13:00（羽場さんサイン会あり）
- ④午後実践報告 13:00～15:05
 - 報告者①大根田朱里さん（小学校、千葉県歴史教育者協議会） 13:00～14:00
 - タイトル「子どもたちと考える戦争と平和—総合学習の取り組み」
 - 報告者②小川輝光さん（高校、神奈川県歴史教育者協議会） 14:05～15:05
 - タイトル「地域で取り組む「戦後80年」への歴史実践：神奈川と横浜から」
- ⑤休憩 15:05～15:15
- ⑥意見交流 15:15～15:55
- ⑦閉会 16:00

会場までの地図



◎参加方法

- ①会場での参加・・・事前申し込みをしてください。参加費は当日お支払いください。
※当日の申し込みも可能です。知人を誘ってご参加ください。
- ②オンライン参加 (Zoom)・・・事前に参加費の振り込みが必要になります。

◎参加申し込み 2024年11月15日(金)～12月25日(水)

歴教協ホームページの「中間研究集会参加申し込みフォーム」で申し込んでください。 アドレス <https://www.rekkyo.org>

◎オンライン参加申し込み・参加費支払い締め切り 12月25日(水) 厳守。

1月10日(金)までには「招待URL」と当日の資料をメールでお送りします。

◎オンライン参加費振り込み先 (ゆうちょ銀行)

*ゆうちょ銀行から・・・記号番号 00190-5-718665

*他行から・・・当座：〇一九店 718665 一般社団法人歴史教育者協議会



歴教協 QR コード

お問い合わせ先 歴史教育者協議会事務局

〒170-0005 東京都豊島区南大塚2-13-8 千成ビル

TEL 03-3947-5701

Eメール jimukyoku@rekkyo.org